

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成20年10月30日 (2008.10.30)

【公開番号】特開2005-66332(P2005-66332A)
【公開日】平成17年3月17日 (2005.3.17)
【年通号数】公開・登録公報2005-011
【出願番号】特願2004-230189(P2004-230189)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月11日 (2008.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤と、

この遊技盤の遊技領域に遊技球を案内する金属製の案内レールと、
前記案内レールを保持する合成樹脂製のレールホルダと、
前記遊技盤に前記レールホルダを固定する固定手段とを備え、
前記レールホルダには、前記遊技球の案内軌道に沿って前記案内レールを支持するレールガイド面を設けるとともに、前記遊技盤の上端中央付近、左端中央付近、右端付中央近のう
ち少なくとも一箇所に、薄板状でレール幅方向の厚み寸法がほぼ一定のくびれ部を形成し、しかも、前記くびれ部の前記レールガイド面には前記案内レールを密着させて支持することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記遊技機は、前記レールホルダのレールガイド面と前記案内レールとの密着補助手段を有しており、

前記密着補助手段は、

前記案内レールのレール面のレール長さ方向に並設される貫通孔と、

前記案内レールの貫通孔に嵌合して前記案内レールを前記レールガイド面に沿って係止する係止部とであることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

前記遊技機は、前記レールホルダのレールガイド面と前記案内レールとの密着補助手段を有しており、

前記密着補助手段は、弾性変形によって伸縮可能な前記案内レールの屈曲部であることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 4】

前記遊技機は、前記レールホルダのレールガイド面と前記案内レールとの密着補助手段を有しており、

前記密着補助手段は、前記遊技盤の前側で前記くびれ部のレールガイド面に突出して前記案内レールの側端に係止する底形リブであることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。